

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて「インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド＜為替ヘッジあり＞」は、2025年11月14日に第4期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

※当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券	
信 託 期 間	2031年11月14日まで	
運 用 方 針	・先進国の通貨建て（日本円を除きます。）のグリーンボンドを実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。 ・実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要運用対象	インベスコ 世界グリーンボンド・ ファンド＜為替ヘッジあり＞	「インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド	先進国の通貨建て（日本円を除く）のグリーンボンドを主要投資対象とします。
組 入 制 限	インベスコ 世界グリーンボンド・ ファンド＜為替ヘッジあり＞	・株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定します。
	インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド	・株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定します。
分 配 方 針	年1回の毎決算時（原則として11月14日。同日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。	

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



## インベスコ 世界グリーンボンド・ ファンド＜為替ヘッジあり＞

追加型投信／内外／債券



## 運用報告書（全体版）

第4期  
（決算日 2025年11月14日）

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階  
<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース)		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
(設定日)	円		円	%		%	%	百万円
2021年11月15日	10,000	—	—	—	10,000	—	—	290
1期(2022年11月14日)	7,948	0		△20.5	8,075	△19.2	93.7	474
2期(2023年11月14日)	7,693	0		△ 3.2	7,832	△ 3.0	100.4	412
3期(2024年11月14日)	8,013	0		4.2	8,068	3.0	98.8	334
4期(2025年11月14日)	8,104	0		1.1	8,103	0.4	98.6	301

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてBloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース) を掲載しています。当該参考指数は、Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ指数) をもとに、当社が独自に指数化したものです。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース)		債 券 組 入 比 率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率	
(期 首)	円	%			%	%
2024年11月14日	8,013	—		8,068	—	98.8
11月末	8,067	0.7		8,159	1.1	94.7
12月末	7,951	△0.8		8,038	△0.4	102.8
2025年1月末	7,978	△0.4		8,026	△0.5	96.5
2月末	8,041	0.3		8,090	0.3	91.6
3月末	7,993	△0.2		7,967	△1.2	99.6
4月末	8,000	△0.2		8,054	△0.2	95.9
5月末	7,955	△0.7		8,050	△0.2	99.7
6月末	8,023	0.1		8,060	△0.1	100.0
7月末	8,022	0.1		8,048	△0.2	101.3
8月末	8,063	0.6		8,047	△0.3	96.0
9月末	8,112	1.2		8,065	△0.0	98.0
10月末	8,146	1.7		8,123	0.7	100.9
(期 末)						
2025年11月14日	8,104	1.1		8,103	0.4	98.6

(注) 基準価額は1万円当たりです。

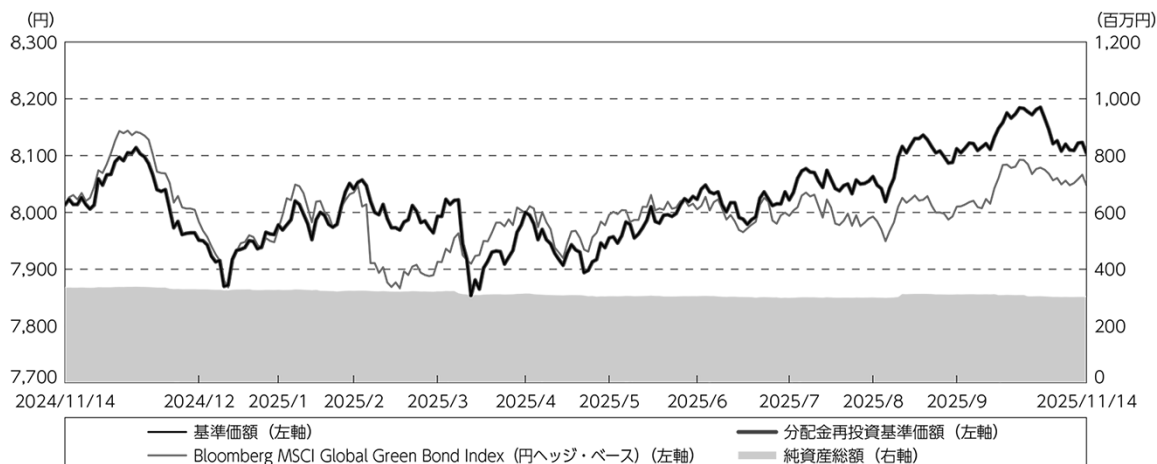
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年11月15日～2025年11月14日)



期 首：8,013円

期 末：8,104円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 1.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびBloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース)は、期首(2024年11月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース)は、参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

## [上昇要因]

- 先進国の通貨建て(日本円を除きます。)のグリーンボンドを実質的な主要投資対象とし、取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本とした運用を行った結果、保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)を獲得したことや米国国債利回りが低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- 実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、為替ヘッジコストがかかったことが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

グリーンボンド (Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (米ドルベース)) +10.4%  
 米国10年国債利回り 4.15% (前期末 4.44%)  
 米ドル／円 154円74銭 (前期末 155円77銭)

※グリーンボンドの騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米国10年国債利回りおよび米ドル／円は当期末の数値です。

## 《債券市場》

当期間中、米国10年国債利回りは低下しました。期初は、米国景気が想定以上に堅調なこと、2025年における米連邦準備理事会 (F R B) の利下げ回数が2回になると示唆されたことなどから、米国国債利回りは上昇する展開となりました。2025年1月から3月にかけては、インフレや労働市場の鈍化が見られたこと、2024年末にF R Bが利下げを行ったことなどを受け、米国国債利回りは低下に転じました。4月から5月にかけては、米中貿易協議の結果が楽観視され、安全資産需要が後退したことなどを背景に、米国国債利回りは水準を切り上げる展開となりました。6月から期末にかけては、米雇用統計の軟化を受け政策金利の引き下げ期待が高まったこと、またF R Bが2会合連続で追加利下げを行ったこと、さらなる利下げに対する期待感が根強いことなどを受け、期を通してみると米国国債利回りは低下しました。

## 《為替市場》

当期間中、米ドルは対円で小幅に下落しました。期前半は、日銀が追加利上げを行ったことや米国による相互関税発動による不透明感が高まったことなどを受け、米ドルは対円で下落しました。期後半は、各国との貿易協定が締結されたこと、米国の経済指標が堅調に推移したことなどを受け、米ドルが買われやすい展開になりました。期末にかけては、F R Bが2会合連続で追加利下げを行ったものの、日銀が政策金利を据え置いたことなどを受け、米ドルは154円台まで買われる展開となり、期を通して見ると米ドルは対円で小幅に下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主としてインベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)に投資を行い、マザーファンドを通じて先進国の通貨建て(日本円を除きます。)のグリーンボンドに投資しました。実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本としてポートフォリオを構築しました。具体的には、資産配分については社債をほぼ全ての投資対象としました。国別では米国、日本などを高めの組入比率とし、通貨別では米ドル、ユーロなどを高めの組入比率としました。

### <ESGを主要な要素として選定する投資対象への投資額の比率について>

当ファンドでは、ESGを主要な要素として選定する投資対象への投資額(時価ベース)の比率に具体的な数値目標は設定されていませんが、「先進国通貨建て(日本円を除きます。)のグリーンボンドを実質的な主要投資対象」と定めており、ポートフォリオにおけるグリーンボンドの組入比率は高位に維持されます。

### <インベスコのステュワードシップ方針>

当社およびインベスコ・グループ全体におけるステュワードシップに関する取り組みについては、以下をご参照ください。

ステュワードシップ・レポート

<https://www.invesco.com/jp/ja/policies/stewardship-report.html>

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+1.1%となり、参考指数であるBloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース) の騰落率+0.4%を上回る結果となりました。

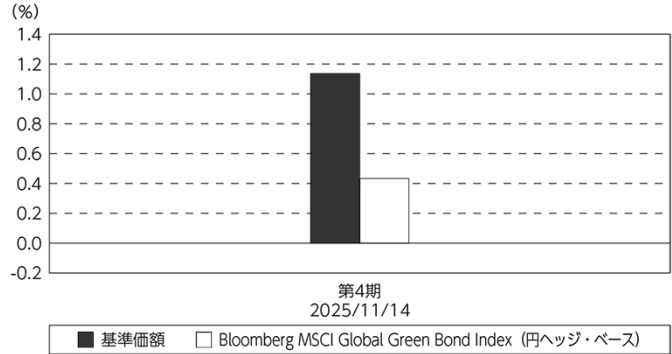
### [プラス要因]

- ・相対的に堅調だった銀行や損害保険セクターの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・通信(有線)セクターなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。

### [マイナス要因]

- ・相対的に軟調だった電力、通信(有線)セクターの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがマイナスに寄与しました。
- ・銀行セクターなどにおける銘柄選択がマイナスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円ヘッジ・ベース) は、参考指数です。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位: 円、1 万口当たり、税込み)

項 目	第 4 期
	2024年11月15日～ 2025年11月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	714

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて先進国の通貨建て（日本円を除きます。）のグリーンボンドに投資します。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本とします。

世界的な環境意識の高まりや、E S G投資の高まりを背景にグリーンボンドに対する投資家の旺盛な需要と企業によるグリーンボンドの新規発行は今後も継続すると考えています。足元では、F R Bが2025年内にさらなる追加利下げを行う可能性も示唆されている一方、トランプ政権の政策方針をめぐり、金融市場のボラティリティが再び高まる可能性も考えられます。一方で、雇用環境が良好であること、個人消費も堅調に推移していることなどから深刻な景気後退に陥る可能性は低いと考えております。

ファンドの運用では、トップダウンのマクロ経済分析とボトムアップの個別銘柄分析に基づき、投資銘柄の信用力、流動性に注意を払いつつ、長期中安定した利回りの確保を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年11月15日～2025年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	73	0.913	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(35)	(0.440)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	(35)	(0.440)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	11	0.133	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 4 )	(0.045)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 5 )	(0.065)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合 計	84	1.046	
期中の平均基準価額は、8,029円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

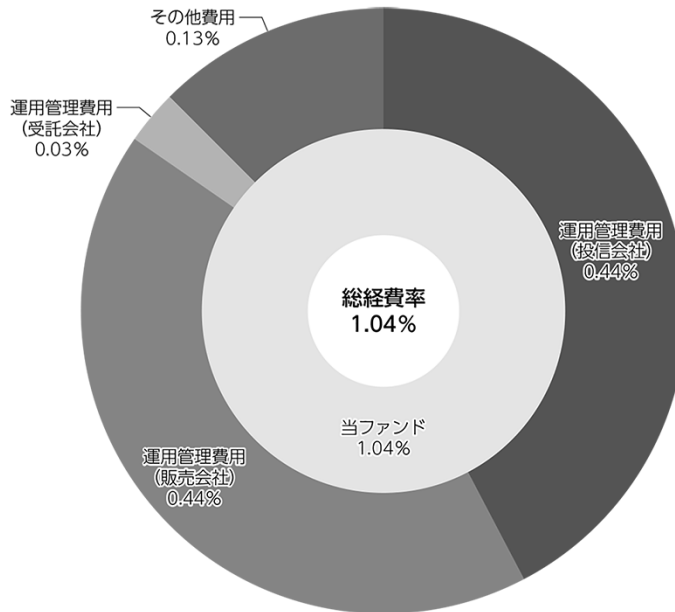
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。



## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.04%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年11月15日～2025年11月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
インベスコ	世界グリーンボンド マザーファンド	34,385	42,474	80,191	100,947

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月15日～2025年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月14日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
インベスコ	世界グリーンボンド マザーファンド	271,983	226,177	305,090

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド	305,090	100.0
コール・ローン等、その他	28	0.0
投資信託財産総額	305,118	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,711,067千円）の投資信託財産総額（1,728,148千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年11月14日における邦貨換算レートは、1米ドル=154.74円、1カナダドル=110.22円、1ユーロ=179.92円、1英ポンド=203.34円、1オーストラリアドル=101.09円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	600,471,130
インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド(評価額)	305,090,236
未収入金	295,380,894
(B) 負債	298,936,403
未払金	297,364,910
未払信託報酬	1,402,620
その他未払費用	168,873
(C) 純資産総額(A－B)	301,534,727
元本	372,100,413
次期繰越損益金	△ 70,565,686
(D) 受益権総口数	372,100,413口
1万口当たり基準価額(C／D)	8,104円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額 417,547,495円  
    期中追加設定元本額 12,336,917円  
    期中一部解約元本額 57,783,999円
2. 元本の欠損  
    貸借対照表上の純資産が元本総額を下回っており、その差額は70,565,686円です。

○損益の状況 (2024年11月15日～2025年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	6,504,420
売買益	62,714,038
売買損	△56,209,618
(B) 信託報酬等	△ 3,223,009
(C) 当期損益金(A＋B)	3,281,411
(D) 前期繰越損益金	△69,443,932
(E) 追加信託差損益金	△ 4,403,165
(配当等相当額)	( 935,511)
(売買損益相当額)	(△ 5,338,676)
(F) 計(C＋D＋E)	△70,565,686
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	△70,565,686
追加信託差損益金	△ 4,403,165
(配当等相当額)	( 963,655)
(売買損益相当額)	(△ 5,366,820)
分配準備積立金	25,611,225
繰越損益金	△91,773,746

- (注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。  
計算期間末における費用控除後の配当等収益 (6,681,255円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (963,655円) および分配準備積立金 (18,929,970円) より分配対象収益は26,574,880円 (1万口当たり714円) となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

○約款変更のお知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書」を規定した条文および関連条文について、信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

# インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド

## 運用報告書

### 第4期

決算日 2025年11月14日

(計算期間：2024年11月15日から2025年11月14日まで)

運用方針	<p>①主として、先進国の通貨建て（日本円を除く）のグリーンボンド※に投資します。</p> <p>※グリーンボンドとは企業や国際機関、地方自治体を含む政府や政府機関などが環境改善を目的とする事業（グリーンプロジェクト）に要する資金を調達するための資金として使用するために発行する債券やグリーンプロジェクトに係る資産から生まれるキャッシュフローを裏付けに発行される債券をいいます。</p> <p>②取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本とします。ただし、組入れ後の信用格付の低下等により投資適格未満のグリーンボンドを保有することがあります。</p> <p>③外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	先進国の通貨建て（日本円を除く）のグリーンボンドに投資します。
組入制限	<p>①株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定します。</p>

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円換算ベース)		債 組 入 比	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
(設定日) 2021年11月15日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 1,127
1 期(2022年11月14日)	9,753	△ 2.5	9,192	△ 8.1	97.9	2,125
2 期(2023年11月14日)	10,977	12.5	10,298	12.0	98.0	2,051
3 期(2024年11月14日)	12,481	13.7	11,355	10.3	97.3	1,809
4 期(2025年11月14日)	13,489	8.1	12,515	10.2	97.5	1,728

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてBloomberg MSCI Global Green Bond Index (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (米ドル・ベース) をもとに、当社が独自に円換算して指数化したものです。以下同じです。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円換算ベース)		債 組 入 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2024年11月14日	円 12,481	% —	11,355	% —	% 97.3
11月末	12,194	△2.3	11,103	△ 2.2	96.7
12月末	12,618	1.1	11,397	0.4	97.5
2025年1月末	12,391	△0.7	11,142	△ 1.9	97.9
2月末	12,175	△2.5	10,906	△ 4.0	93.6
3月末	12,265	△1.7	11,088	△ 2.4	97.9
4月末	11,945	△4.3	11,145	△ 1.9	97.8
5月末	12,038	△3.5	11,256	△ 0.9	98.3
6月末	12,377	△0.8	11,648	2.6	97.9
7月末	12,693	1.7	11,813	4.0	98.2
8月末	12,681	1.6	11,794	3.9	96.3
9月末	12,985	4.0	12,037	6.0	96.0
10月末	13,468	7.9	12,424	9.4	97.2
(期 末) 2025年11月14日	13,489	8.1	12,515	10.2	97.5

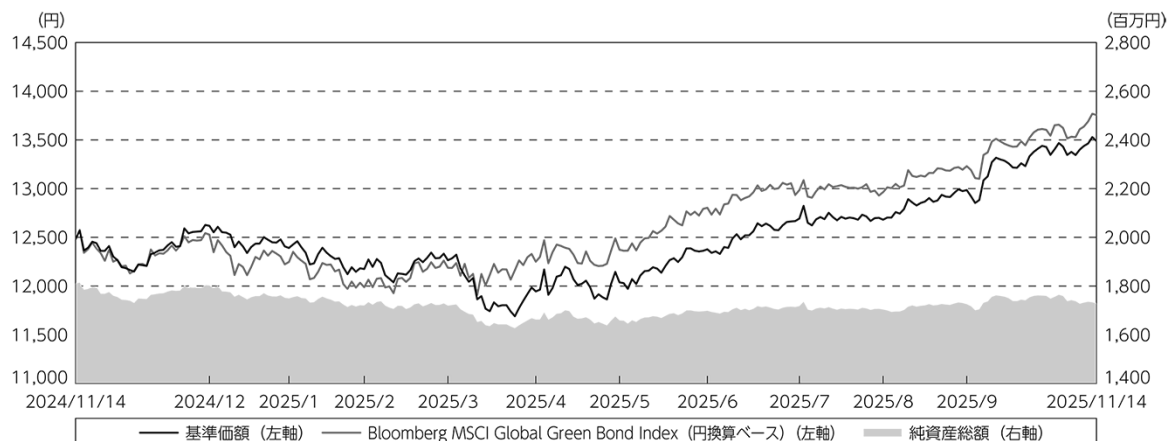
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2024年11月15日～2025年11月14日)



期 首：12,481円

期 末：13,489円

騰落率： 8.1%

(注) Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円換算ベース) は、期首 (2024年11月14日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (円換算ベース) は、参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・先進国の通貨建て (日本円を除きます。) のグリーンボンドを主要投資対象とし、取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本とした運用を行った結果、保有する債券からのインカムゲイン (利息収入) を獲得したことや米国国債利回りが低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、期を通じてみると米ドルが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

グリーンボンド (Bloomberg MSCI Global Green Bond Index (米ドルベース)) +10.4%  
 米国10年国債利回り 4.15% (前期末 4.44%)  
 米ドル／円 154円74銭 (前期末 155円77銭)

※グリーンボンドの騰落率は当期末時点（対前期末比）、米国10年国債利回りおよび米ドル／円は当期末の数値です。

## &lt;債券市場&gt;

当期中、米国10年国債利回りは低下しました。期初は、米国景気が想定以上に堅調なこと、2025年における米連邦準備理事会（F R B）の利下げ回数が2回になると示唆されたことなどから、米国国債利回りは上昇する展開となりました。2025年1月から3月にかけては、インフレや労働市場の鈍化が見られたこと、2024年末にF R Bが利下げを行ったことなどを受け、米国国債利回りは低下に転じました。4月から5月にかけては、米中貿易協議の結果が楽観視され、安全資産需要が後退したことなどを背景に、米国国債利回りは水準を切り上げる展開となりました。6月から期末にかけては、米雇用統計の軟化を受け政策金利の引き下げ期待が高まったこと、またF R Bが2会合連続で追加利下げを行ったこと、さらなる利下げに対する期待感が根強いことなどを受け、期を通してみると米国国債利回りは低下しました。

## &lt;為替市場&gt;

当期中、米ドルは対円で小幅に下落しました。期前半は、日銀が追加利上げを行ったことや米国による相互関税発動による不透明感が高まったことなどを受け、米ドルは対円で下落しました。期後半は、各国との貿易協定が締結されたこと、米国の経済指標が堅調に推移したことなどを受け、米ドルが買われやすい展開になりました。期末にかけては、F R Bが2会合連続で追加利下げを行ったものの、日銀が政策金利を据え置いたことなどを受け、米ドルは154円台まで買われる展開となり、期を通して見ると米ドルは対円で小幅に下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として先進国の通貨建て（日本円を除きます。）のグリーンボンドに投資しました。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本としてポートフォリオを構築しました。具体的には、資産配分については社債をほぼ全ての投資対象としました。国別では米国、日本などを高めの組入比率とし、通貨別では米ドル、ユーロなどを高めの組入比率としました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+8.1%となり、参考指数であるBloomberg MSCI Global Green Bond Index（円換算ベース）の騰落率+10.2%を下回る結果となりました。

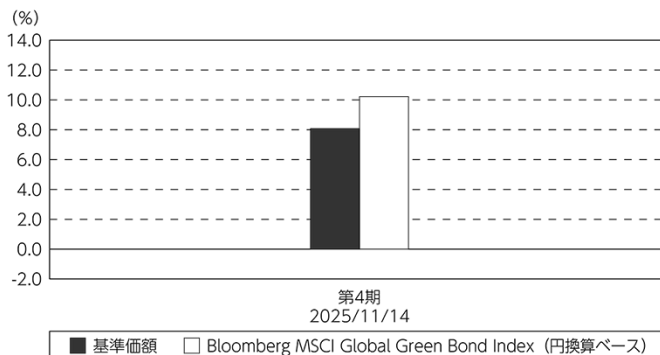
### 【プラス要因】

- ・相対的に堅調だった銀行や損害保険セクターの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・通信（有線）セクターなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。

### 【マイナス要因】

- ・相対的に軟調だった電力、通信（有線）セクターの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがマイナスに寄与しました。
- ・銀行セクターなどにおける銘柄選択がマイナスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) Bloomberg MSCI Global Green Bond Index（円換算ベース）は、参考指数です。

## ○今後の運用方針

主として、先進国の通貨建て（日本円を除きます。）のグリーンボンドに投資します。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。取得時において投資適格以上の信用格付を有するグリーンボンドに投資を行うとともに、ポートフォリオ全体の平均格付は原則として投資適格以上とすることを基本とします。

世界的な環境意識の高まりや、ESG投資の高まりを背景にグリーンボンドに対する投資家の旺盛な需要と企業によるグリーンボンドの新規発行は今後も継続すると考えています。足元では、FRBが2025年内にさらなる追加利下げを行う可能性も示唆されている一方、トランプ政権の政策方針をめぐり、金融市場のボラティリティが再び高まる可能性も考えられます。一方で、雇用環境が良好であること、個人消費も堅調に推移していることなどから深刻な景気後退に陥る可能性は低いと考えております。

ファンドの運用では、トップダウンのマクロ経済分析とボトムアップの個別銘柄分析に基づき、投資銘柄の信用力、流動性に注意を払いつつ、長期で安定した利回りの確保を目指します。



## ○当ファンドのデータ

(2025年11月14日現在)

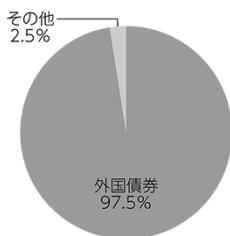
## 【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	TELIA 1.375% 2049/12/31	普通社債券	ユーロ	スウェーデン	2.4
2	WESTPAC BANKING 0.766% 2031/5/13	普通社債券	ユーロ	オーストラリア	2.4
3	SOCIEDAD QUIMICA Y MINER 6.5% 2033/11/7	普通社債券	米ドル	チリ	2.3
4	NORINCHUKIN BANK 5.43% 2028/3/9	普通社債券	米ドル	日本	2.3
5	INVERSIONES CMPC 6.125% 2034/2/26	普通社債券	米ドル	チリ	2.1
6	DOMINION ENERGY 2.25% 2031/8/15	普通社債券	米ドル	アメリカ	2.1
7	THE BERKELEY GROUP 2.5% 2031/8/11	普通社債券	英ポンド	イギリス	2.0
8	IBERDROLA FINANZAS SAU 1.575% 2059/12/31	普通社債券	ユーロ	スペイン	2.0
9	MDGH GMTN RSC 5.875% 2034/5/1	普通社債券	米ドル	アラブ首長国連邦	2.0
10	BNP PARIBAS 1.675% 2027/6/30	普通社債券	米ドル	フランス	1.9
組入銘柄数		85銘柄			

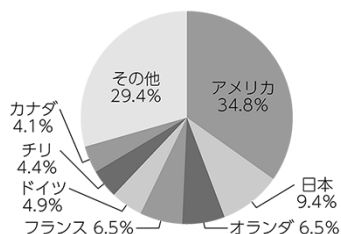
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国（地域）につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

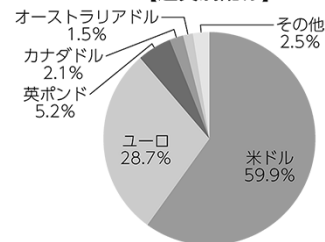
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年11月15日～2025年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.021	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	3	0.021	
期中の平均基準価額は、12,485円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年11月15日～2025年11月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 825	千米ドル 859
		特殊債券	—	—
		社債券（投資法人債券を含む）	496	( 61) 825 (954)
	カナダ	社債券（投資法人債券を含む）	千カナダドル —	千カナダドル — (325)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	93	—
		イタリア	国債証券 106	—
		フランス	国債証券 109	—
		スペイン	国債証券 64	—
		ベルギー	国債証券 43	—
		特殊債券	101	—
		オーストリア	国債証券 50	—
		アイルランド	国債証券 46	—
		その他	社債券（投資法人債券を含む） 101	—
	イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	千英ポンド —	千英ポンド — (148)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)  
(注) 単位未満は切捨てています。  
(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。  
(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月15日～2025年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年11月14日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 7,380	千米ドル 6,690	千円 1,035,286	% 59.9	% —	% 34.5	% 14.7	% 10.7
カナダ	千カナダドル 327	千カナダドル 328	36,173	2.1	—	—	2.1	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	600	469	84,561	4.9	—	4.9	—	—
イタリア	213	214	38,513	2.2	—	1.1	1.1	—
フランス	570	437	78,715	4.6	—	4.6	—	—
オランダ	300	299	53,920	3.1	—	3.1	—	—
スペイン	300	261	46,980	2.7	—	2.7	—	—
ベルギー	150	140	25,235	1.5	—	1.5	—	—
オーストリア	50	51	9,192	0.5	—	—	0.5	—
アイルランド	50	47	8,511	0.5	—	0.5	—	—
その他	858	838	150,803	8.7	—	8.7	—	—
イギリス	千英ポンド 500	千英ポンド 444	90,341	5.2	—	4.1	—	1.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 300	千オーストラリアドル 262	26,560	1.5	—	1.5	—	—
合 計	—	—	1,684,796	97.5	—	67.1	18.5	11.9

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額(評価額)の比率です。

(注) 信用格付については、原則として価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 時価については、原則として金融商品取引業者、外国証券会社および価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	アメリカ国債	3.625	17	2,683	2030/10/31
		アメリカ国債	3.75	12	1,841	2032/10/31
		アメリカ国債	4.25	4	626	2035/8/15
		アメリカ国債	4.75	60	9,348	2055/5/15
		アメリカ国債 N/B	4.875	25	3,967	2045/8/15
	特殊債券 (除く金融債)	AVANGRID	3.8	158	24,054	2029/6/1
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ABN AMRO BANK NV	2.47	200	29,289	2029/12/13
		APPLE	3.0	150	22,939	2027/6/20
		ARIZONA PUBLIC SERVICE	2.65	140	13,201	2050/9/15
		BNP PARIBAS	1.675	216	32,856	2027/6/30
		BROOKFIELD FINANCE	2.724	200	28,248	2031/4/15
		COCA-COLA FEMSA SAB CV	1.85	242	31,316	2032/9/1
		COMCAST	4.65	100	15,392	2033/2/15
		CON EDISON CO OF NY	3.6	200	21,417	2061/6/15
		CONSTELLATION EN GEN	5.75	71	10,889	2054/3/15
		DOMINION ENERGY	2.25	261	35,774	2031/8/15
		DTE ELECTRIC	4.05	53	6,736	2048/5/15
		EDP FINANCE BV	1.71	200	29,283	2028/1/24
		EQUINIX	3.9	75	11,114	2032/4/15
		HONDA MOTOR	2.967	85	12,004	2032/3/10
		INVERSIONES CMPC	6.125	230	36,309	2034/2/26
		JABIL	4.25	122	18,870	2027/5/15
		KAISER FOUNDATION HOSPIT	2.81	70	8,077	2041/6/1
		LIBERTY UTILITIES FIN	2.05	134	18,594	2030/9/15
		MDGH GMTN RSC	5.875	200	33,932	2034/5/1
		MICRON TECHNOLOGY	2.703	100	13,767	2032/4/15
		MIDAMERICAN ENERGY	4.25	100	12,756	2049/7/15
		MTR	1.625	200	28,007	2030/8/19
		NEXTERA ENERGY CAPITAL	1.9	191	27,991	2028/6/15
		NIAGARA MOHAWK POWER	1.96	66	9,197	2030/6/27
		NIAGARA MOHAWK POWER	5.783	150	23,159	2052/9/16
		NORINCHUKIN BANK	4.867	200	31,212	2027/9/14
		NORINCHUKIN BANK	5.43	250	39,638	2028/3/9
		NSTAR ELECTRIC	3.1	61	6,423	2051/6/1
		OGLETHORPE POWER	5.9	200	30,906	2055/2/1
		PRINCIPAL LFE GLB FND II	1.25	70	10,607	2026/8/16
		PROLOGIS	4.625	200	31,137	2033/1/15
		PUBLIC SERVICE OKLAHOMA	3.15	200	20,543	2051/8/15
		ROYAL BANK OF CANADA	1.15	132	20,042	2026/7/14
		RWE FINANCE US	5.125	150	22,875	2035/9/18
		RWE FINANCE US	5.875	150	22,653	2055/9/18
		SOCIEDAD QUIMICA Y MINER	6.5	245	40,524	2033/11/7
		SONOCO PRODUCTS	2.85	100	13,900	2032/2/1

インベスコ 世界グリーンボンド マザーファンド

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	普通社債券 (含む投資法人債券)	SOUTHERN POWER	0.9	116	115	17,845	2026/1/15
		SOUTHWESTERN ELEC POWER	3.25	200	132	20,465	2051/11/1
		SOUTHWESTERN PUBLIC SERV	3.15	161	107	16,603	2050/5/1
		SUMITOMO MITSUI FINL GRP	2.472	200	190	29,457	2029/1/14
		SUMITOMO MITSUI TR BK LT	2.8	200	196	30,464	2027/3/10
		TOYOTA MOTOR CREDIT	2.15	113	104	16,165	2030/2/13
		UNION ELECTRIC	2.625	200	120	18,715	2051/3/15
		VERIZON COMMUNICATIONS	3.875	100	74	11,566	2052/3/1
		WISCONSIN PUBLIC SERVICE	2.85	100	63	9,885	2051/12/1
小 計						1,035,286	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	特殊債券 (除く金融債)	欧州投資銀行	1.0	127	122	13,535	2028/1/28
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BROOKFIELD RENEWABLE PAR	4.25	200	205	22,638	2029/1/15
小 計						36,173	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	ドイツ国債	—	200	90	16,356	2050/8/15
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ENBW ENERGIE BADEN - WU	1.375	100	95	17,121	2049/12/31
		ENBW ENERGIE BADEN - WU	5.25	100	106	19,098	2049/12/31
		TALANX	1.75	200	177	31,985	2042/12/1
イタリア	国債証券	イタリア国債	4.0	50	53	9,580	2031/10/30
		イタリア国債	4.05	50	52	9,420	2037/10/30
	普通社債券 (含む投資法人債券)	INTESA SANPAOLO SPA	0.75	113	108	19,512	2028/3/16
フランス	国債証券	フランス国債	0.5	200	110	19,799	2044/6/25
	特殊債券 (除く金融債)	ELECTRICITE DE FRANCE	1.0	100	81	14,695	2033/11/29
	普通社債券 (含む投資法人債券)	AXA	1.375	170	152	27,416	2041/10/7
CNP ASSURANCES		2.0	100	93	16,803	2050/7/27	
オランダ	特殊債券 (除く金融債)	TENNET HOLDING	2.375	100	96	17,327	2033/5/17
	普通社債券 (含む投資法人債券)	DIGITAL DUTCH FINCO BV	3.875	100	100	18,003	2033/9/13
		NE PROPERTY BV	4.25	100	103	18,588	2032/1/21
スペイン	国債証券	スペイン国債	1.0	100	66	12,050	2042/7/30
	普通社債券 (含む投資法人債券)	IBERDROLA FINANZAS SAU	1.575	200	194	34,929	2059/12/31
ベルギー	国債証券	ベルギー国債	1.25	50	44	8,036	2033/4/22
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN UNION	2.75	50	49	8,992	2033/2/4
		EUROPEAN UNION	3.25	50	45	8,206	2050/2/4
オーストリア	国債証券	オーストリア国債	2.9	50	51	9,192	2029/5/23
アイルランド	国債証券	アイルランド国債	1.35	50	47	8,511	2031/3/18
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	EPH FIN INTERNATIONAL AS	4.625	100	101	18,350	2032/7/2
		NATIONAL GRID NA	4.061	100	101	18,198	2036/9/3
		STOREBRAND LIVSFORSIKRIN	1.875	200	180	32,476	2051/9/30
		TELIA	1.375	230	228	41,132	2049/12/31

銘 柄			当 期 末			
			利 率	額面金額	評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
				千ユーロ	千ユーロ	千円
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	WESTPAC BANKING	0.766	228	225	40,644
小 計						496,434
イギリス				千英ポンド	千英ポンド	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	CAIXABANK	1.5	100	99	20,302
		EAST JAPAN RAILWAY	5.562	100	95	19,411
		THE BERKELEY GROUP	2.5	200	172	35,019
		TRITAX BIG BOX REIT	1.5	100	76	15,607
小 計						90,341
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	LENLEASE FINANCE	3.7	300	262	26,560
小 計						26,560
合 計						1,684,796

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
(注) 時価については、原則として金融商品取引業者、外国証券会社および価格情報会社等よりデータを入手しています。  
(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成 (2025年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,684,796	97.5
コール・ローン等、その他	43,352	2.5
投資信託財産総額	1,728,148	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。  
(注) 当期末における外貨建純資産 (1,711,067千円) の投資信託財産総額 (1,728,148千円) に対する比率は99.0%です。  
(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年11月14日における邦貨換算レートは、1米ドル=154.74円、1カナダドル=110.22円、1ユーロ=179.92円、1英ポンド=203.34円、1オーストラリアドル=101.09円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,728,148,360
コール・ローン等	18,021,689
公社債(評価額)	1,684,796,993
未収利息	15,361,480
前払費用	129,129
差入委託証拠金	9,839,069
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	1,728,148,360
元本	1,281,107,782
次期繰越損益金	447,040,578
(D) 受益権総口数	1,281,107,782口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,489円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 期首元本額 1,450,139,472円  
    期中追加設定元本額 44,813,050円  
    期中一部解約元本額 213,844,740円
- 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額  
    インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド<為替ヘッジなし>  
        1,054,930,722円  
    インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド<為替ヘッジあり>  
        226,177,060円  
    合計 1,281,107,782円

○損益の状況 (2024年11月15日～2025年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	58,638,290
受取利息	58,053,168
その他収益金	585,122
(B) 有価証券売買損益	74,198,706
売買益	99,849,257
売買損	△ 25,650,551
(C) 保管費用等	△ 378,501
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	132,458,495
(E) 前期繰越損益金	359,754,518
(F) 追加信託差損益金	10,668,028
(G) 解約差損益金	△ 55,840,463
(H) 計(D＋E＋F＋G)	447,040,578
次期繰越損益金(H)	447,040,578

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書」を規定した条文および関連条文について、信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)